

景況調査

第9回「県内企業景気動向調査」(概要※)

※詳細は調査レポート (<http://www.sfsi.co.jp/>) をご覧ください。

1. 調査の目的

県内に本社を置いて企業活動を営む法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、県内景気の動向について把握するために実施した。

2. 調査の方法

オンライン・アンケート(760社※)、並びにヒアリング(24社)。

※有効回答数372社(回答率48.9%)

3. オンライン・アンケートの集計方法

すべての質問項目についてDI(Diffusion Index)値を求める。たとえば、各社の業況を示す「自社の業況DI値」の算出方法は次の通り。

「自社の業況DI値」= (「良い」と回答した企業の割合)

－ (「悪い」と回答した企業の割合)

4. 調査期間

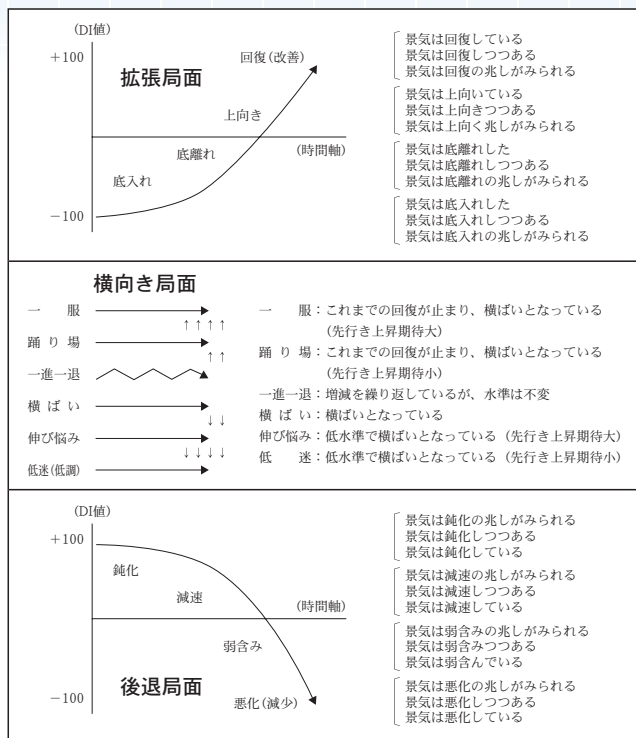
オンライン調査：平成18年11月1日(水)～15日(水)

ヒアリング調査：平成18年11月27日(月)～12月16日(土)

5. 地域区分

地域名	対象となる市町村名
村山南部	山形市、上山市、山辺町、中山町
村山北部	寒河江市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町
最上	新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村
置賜	米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町
庄内田川	鶴岡市、庄内町、三川町
庄内飽海	酒田市、遊佐町

6. 調凡例用語の凡例



■ 景気天気図

天気図とは、地域別・業種別の景気動向を見比べるため、自社の業況DI値(前期比)を5段階に分けて図解したもの。「天気図の凡例」をご参照のこと。

天気図の凡例

特に好調	好調	まあまあ	不振	きわめて不振
DI ≥ 30	30 > DI ≥ 10	10 > DI ≥ -10	-10 > DI ≥ -30	-30 > DI

(前回調査)

	全業種	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
山形県					
村山南部					
村山北部					
最上					
置賜					
庄内田川					
庄内飽海					

(今回調査)

	全業種	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
山形県					
村山南部					
村山北部					
最上					
置賜					
庄内田川					
庄内飽海					

■ 県内企業の景気動向

現状判断：横ばいで推移している。

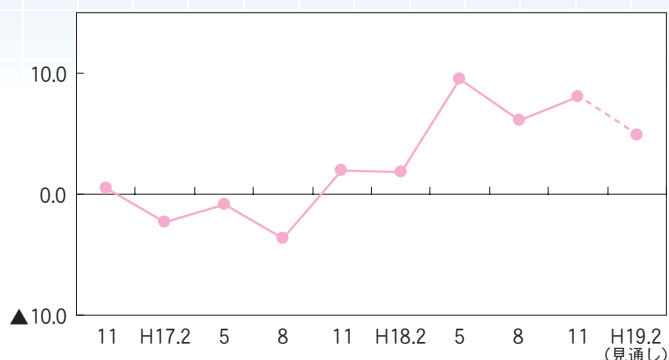
業況は、自社の業況DI値（前年同期比）が8.1となっており、前回よりも2.0ポイント改善したものの、おおむね横ばいで推移している。

全体的に仕入価格の高値感は続いているものの、売上高、営業利益ともに改善しつつある。売上高DI値は2.2ポイント改善し6.5となったほか、営業利益DI値は9.5ポイント改善し、▲2.2であった。

来期の見通し：踊り場となる見込み。

業況の先行き見通しは、自社の業況DI値が4.9となっており、引き続き踊り場的な状況が予想される。

自社業況DI値の推移（前年同期比）



年	月	自社業況	業界業況	売上高	営業利益	人員・人手	資金繰り
H18	08	6.1	▲ 19.1	4.3	▲ 11.7	2.3	▲ 6.9
	11	8.1	▲ 15.6	6.5	▲ 2.2	11.0	▲ 8.6
H19 (見通し)	02	4.9	▲ 16.4	0.8	▲ 5.9	3.8	▲ 20.7

■ 業種別の動向

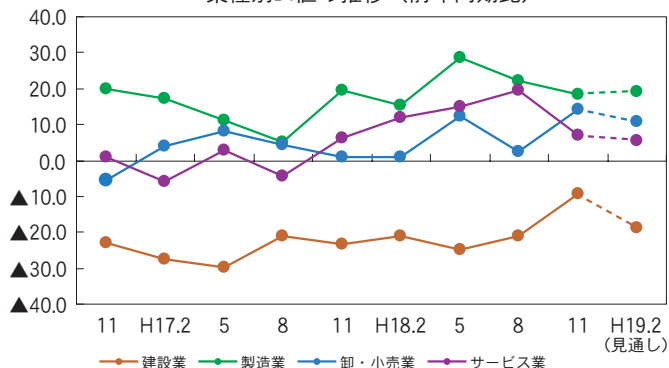
現状判断

業種別では、これまで不振が続いていた建設業で災害（凍上災）復旧工事の影響もあり、DI値が前回より11.7ポイント改善するなど、一部に底入れの兆しが見られた。しかし、これまで好調が続いていた製造業とサービス業ではやや一服感が出た。卸・小売業は前回より12.1ポイント改善したものの、一進一退で推移している。

来期見通し

製造業で今期よりわずかに改善予想となったものの、卸・小売業やサービス業では季節的な要因からやや控えめな見通しとなった。また、建設業では手持ち工事の少なさから、大幅な悪化予想となっている。

業種別DI値の推移（前年同期比）



年	月	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
H18	08	▲ 21.0	22.2	2.3	19.7
	11	▲ 9.3	18.2	14.4	7.1
H19 (見通し)	02	▲ 18.6	19.0	10.9	5.6

■ 地域別の動向

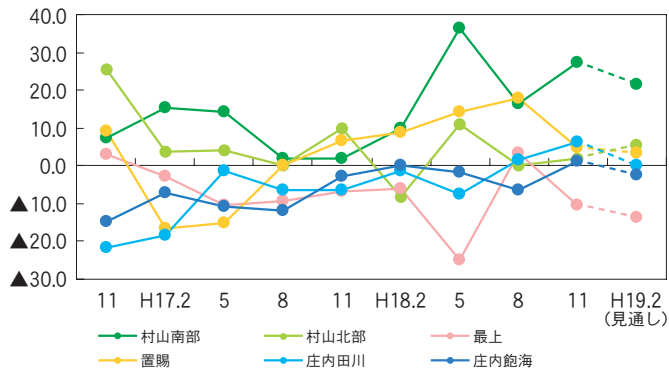
現状判断

地域別では、最上のDI値が▲10.4と唯一マイナスとなるなど、伸び悩みを見せているものの、その他5地域では概ね回復基調であった。なかでも村山南部はDI値が27.2となっており、前回より10.7ポイント改善するなど、持ち直している。

来期見通し

最上と庄内飽海でDI値がマイナスとなるなど悲観的であったが、他の4地域はDI値がプラスとなっている。ただし、DI値がプラスとなった地域でも、今期と比べるとやや下振れしており、全体的に控えめな予想となっている。

地域別DI値の推移（前年同期比）



年	月	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
H18	08	16.5	0.0	3.2	17.8	1.5	▲ 6.4
	11	27.2	1.8	▲ 10.4	5.0	6.4	1.3
H19 (見通し)	02	21.5	5.6	▲ 13.8	3.4	0.0	▲ 2.5